

平成 30 年第 11 回西予市教育委員会定例会 会議録

I 開会の月日及び場所

平成 30 年 11 月 28 日 (水)

西予市教育保健センター4階 第二研修室

II 定数

5 人

III 出席者

教育長 保木 俊司	委 員 山本 恵子
委 員 樋口 美和	委 員 平岡 長治
委 員 古谷 和彦	

IV 欠席者

なし

V 議事に出席した公務員の職氏名

教育部長	高橋 司	教育総務課長	宇都宮 裕
学校教育課長	大谷 元二	生涯学習課長	小玉 浩幸
スポーツ・文化課長	谷口 佳代	明浜教育課長	浜田 喜基
野村教育課長	岡上 昌造	城川教育課長	久保田 修
三瓶教育課長	滝野 広明	教育総務課長補佐	麓 寿春
学校教育課長補佐	井関 修三	教育総務課主任	片山 裕介

VI 傍聴者

なし

VII 会議の概要

1 開会

教育長 午前 9 時開会を宣する。

2 会議録の承認

教育長 平成 30 年第 10 回教育委員会定例会会議録について意見を求める。

- 全委員 特になし。
- 教育長 平成 30 年第 10 回教育委員会定例会会議録の承認について諮る。
- 全委員 異議ない旨答える。
- 教育長 第 10 回教育委員会定例会会議録を承認する旨宣する。
- 3 行事報告及び行事予定について
- 教育長 12 月行事予定について報告を求める。
- 教育総務課長 12 月行事予定について報告する。
- 教育長 12 月行事予定について意見を求める。
- 全委員 特になし。
- 教育長 平成 30 年第 12 回教育委員会定例会の開催日程について意見を求める。
- 教育総務課長 平成 30 年第 12 回教育委員会定例会を 12 月 25 日（火）午後 3 時から開催する旨提案する。
- 教育長 平成 30 年第 12 回教育委員会定例会を 12 月 25 日（火）午後 3 時から開催する旨宣する。
- 4 案件
- 議案第 32 号 西予市公民館長の任命について
- 教育長 事務局の説明を求める。
- 生涯学習課長 西予市公民館長の任命について説明する。
- 教育長 原案について意見を求める。
- 全委員 特になし。
- 教育長 原案について諮る。
- 全委員 異議ない旨答える。
- 教育長 審議の結果、原案のとおり可決決定する旨宣する。
- 5 その他
- 教育長 平成 30 年度一般会計補正予算第 7 号の概要について報告を求める。
- 教育総務課長 11 月 7 日の平成 30 年第 3 回西予市議会臨時会で平成 30 年度一般会計補正予算第 7 号が議決された。
- その内容は、7 月豪雨災害を受けて緊急に取り組む必要がある災害復旧に要する経費及び公立学校施設の空調整備に係る経費が主な内容となる。
- 教育費全体で 4,325 千円を増額補正し、補正後の教育費予算は 4,255,774 千円となり、一般会計全体に占める教育費の構成比は 10.3%となった。
- 補正予算の内訳は、教育総務課所管分が、大野ヶ原小学校を除く市

内小学校 11 校の空調設備に係る設計委託料に 2,699 千円計上、市内中学校 5 校の空調設備に係る設計委託料に 1,626 千円を計上している。

災害復旧費として、スポーツ・文化課所管分が、乙亥会館改修工事に係る設計委託料に 7,960 千円、経済振興課所管分が、宇和米博物館の擁壁等復旧工事に係る経費に 53,930 千円の合計 61,890 千円を計上した。

空調設備については、今後工事請負費を計上することになるが、国庫補助金の内示通知が届き次第、可能であれば 12 月西予市議会の最終日に追加議案提出を考えている。

教育長

乙亥会館の復旧について報告を求める。

スポーツ・文化課長

市民を中心とした検討委員会で検討し、既存施設を利用したの現地復旧が決定された。検討委員会の中では早期復旧を望む意見と治水対策に関する意見が多かった。検討委員会の意見を踏まえて市で協議した結果、早期復旧と原形復旧を基本に、止水扉や防水・強化ガラスといった浸水対策を行って、平成 31 年度末を目標に復旧を目指すことになった。

工事請負費については、補助率 2/3 の公立社会教育施設災害復旧費補助金を利用して、12 月西予市議会に補正予算計上を行うことにしている。

平岡委員

川からの流水対策は何か考えているのか問う。

スポーツ・文化課長

掃き出しになっていた窓は下 1m 程度を壁にし、かつ、ガラスは一般的に通常の 4~5 倍の強度があるといわれる強化ガラスを使用し、8 箇所ある 1 階出入り口はすべて止水扉にして浸水対策を行う。

建物の重要部分になる受変電設備や非常用発電機等の機械については、今までは 1 階にあったが、2 階へ移動して災害時に備える対策を行う旨答える。

平岡委員

護岸等の川に対する対策は具体的にはなっていないのか問う。

スポーツ・文化課長

検討委員会でも川に対する対策の意見もあった。例えば建物の周りを外壁で囲むとすると光が建物内に入らなくなり、社会体育施設として使い勝手が悪くなる。

復旧において、使用者にとって利用しやすく、しかしできる限りの浸水対策は行うという方針で先のような対策を行うようになった旨答える。

教育長

川自体の流下能力を高める等ということについては、愛媛県の管理になるため県の判断になるが、現時点では 100 年に 1 度の洪水に

対応できるような状態になっているので、これから先、どの程度の対策ができるのかは分からない。

川と建物との間に壁をつくることについては、河川敷と建物との距離が短く、壁をつくと基礎が河川敷に入ってしまうため、壁がつかれない旨述べる。

樋口委員 もし壁をつくるとした場合は、その費用は国庫補助の復旧費に含まれないのか問う。

教育長 国庫補助は現状復旧が基本であるため、壁をつくる費用は国庫補助の対象にはならない旨答える。

平岡委員 いつまでにすべての小中学校の空調設備設置を完了するのか問う。

教育総務課長 国は単年度設置を原則としているため、来年度すべての小中学校の空調設備を完了させたいが、全国一斉に空調設備の設置を行うことになるため、業者が対応可能なのか、また空調設備機材の在庫があるのかということを懸念している。教育委員会としてはできるだけ早期に発注を行いたいと考えている。現時点は、早期の空調設備設置に向けて、各学校に対して、どの教室にどのような形で設置するかの調整を行っている。

来年の6～9月の暑い時期までに設置が完了できればいいが、それまでの完了は難しいのではないかと考えている旨答える。

6 閉会

教育長 午前9時25分閉会を宣する。

議事録署名

以上、平成 30 年第 11 回西予市教育委員会定例会の顛末を記録して相違ないことを証明する。

平成 30 年 12 月 25 日

教育長

保 木 俊 司

教育委員

山 本 恵 子

教育委員

樋 口 美 智 子

教育委員

平 岡 長 治

教育委員

古 谷 和 彦

